

社会福祉法人 鹿児島県社会福祉事業団の概要

基本理念

一人ひとりのおもいを大切にします

私たちは、利用者や地域のみなさん一人ひとりの、それぞれのおもいを大切にしていきます

みなに笑顔届けます

私たちは、みなさんすべてに、心からの笑顔が生まれるよう努めていきます

地域のくらしを守ります

私たちは、地域のみなさんの、自分らしく、生きがいのあるくらしを支えています



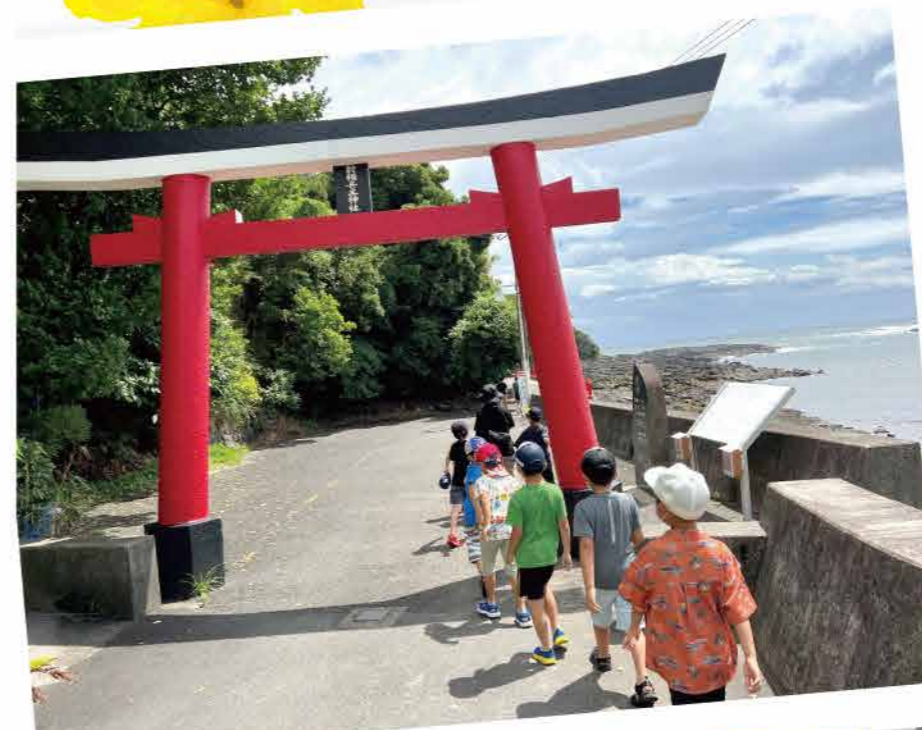
施設位置	施設種別	施設名	所在地	利用定員(名)
①	法人本部	事務局	〒890-8517 鹿児島市鴨池新町1番7号 鹿児島県社会福祉センター4階 TEL099-257-7667 FAX099-259-3939 E-mail j-office@kagoshima-swc.jp	—
②	児童養護施設	仁風学園	〒891-1304 鹿児島市本名町458-1 TEL099-294-2354 FAX099-294-4410 E-mail jinpu@kagoshima-swc.jp	42
③	児童養護施設	若葉学園	〒899-5411 始良市鍋倉190番地2 TEL0995-65-4313 FAX0995-65-4609 E-mail wakaba@kagoshima-swc.jp	80
—	女性自立支援施設	—	—	30
④	保育所	同胞保育園	〒892-0819 鹿児島市柳町3番地20 TEL099-222-2654 FAX099-222-2694 E-mail douhou@kagoshima-swc.jp	150
	地域子育て支援拠点事業	上町わくわくランド	—	—
	放課後児童健全育成事業	同胞学童クラブ	—	—
⑤	保育所	鹿児島みなみ保育園	〒890-0068 鹿児島市東郡元町18番地3 TEL099-253-3145 FAX099-253-3146 E-mail k-minami@kagoshima-swc.jp	110
⑥	地域子育て支援拠点事業	鹿児島市南部親子つどいの広場 (たにっこりん)	〒891-0117 鹿児島市西谷山1丁目3-2 TEL099-266-6501 FAX099-266-6502 E-mail tanikkorin@kagoshima-swc.jp	—
—	母子生活支援施設	—	—	20世帯
⑦	障害者支援施設	ゆすの里	〒899-2503 日置市伊集院町妙円寺1丁目1番1号 TEL099-273-4175 FAX099-273-4177 E-mail yusunosato@kagoshima-swc.jp	日中活動 80 / 施設入所 70
	特定相談支援事業	ゆす	—	—
⑧	障害福祉サービス事業 (生活介護・自立訓練(生活訓練))	リハステーションゆす	〒892-0836 鹿児島市錦江町3番7号 TEL099-295-0415 FAX099-295-0453 E-mail rihayusu@kagoshima-swc.jp	20
⑨	障害者支援施設	川内自興園	〒895-0007 薩摩川内市百次町1110 TEL0996-22-4801 FAX0996-22-4803 E-mail sendai@kagoshima-swc.jp	日中活動 136 施設入所 100
	障害福祉サービス事業 (共同生活援助)	川内ひまわりホーム	〒895-0007 薩摩川内市百次町1092-3 TEL0996-20-1261 E-mail sendai@kagoshima-swc.jp	30
	特定相談支援事業 障害児相談支援事業	あおぞら	〒895-0007 薩摩川内市百次町1092-3 TEL0996-22-5006 FAX0996-22-5008 E-mail sendai@kagoshima-swc.jp	—
	障害児通所支援事業 (放課後等デイサービス事業)	チャイルドクラブ あおぞら	〒895-0007 薩摩川内市百次町1110 TEL0996-21-1517 FAX0996-21-1518 E-mail sendai@kagoshima-swc.jp	10
⑩	障害者就業・ 生活支援センター事業	かごしま障害者就業・ 生活支援センター	〒892-0838 鹿児島市新屋敷町16番217号 県住宅供給公社ビルC棟2階217号室 TEL099-248-9461 FAX099-248-9462 E-mail kssc@kagoshima-swc.jp	—
⑪	障害者就業・ 生活支援センター事業	ほくさつ障害者就業・ 生活支援センター	〒895-0027 薩摩川内市西向田町11番26号 TEL0996-29-5022 FAX0996-29-5033 E-mail hssc@kagoshima-swc.jp	—

本誌の掲載につきましては個人情報保護法に基づき本人の承認を得て掲載しています。

飛翔

HISHO

Vol.67



【若葉学園】一日外出の様子in釜蓋神社



【川内自興園】親善球技大会 試合前の円陣

CONTENTS

【特集】障害のある方の社会参加を目指して	P02
ねっとわーく～施設の窓から～	P04
令和6年度 新規採用職員紹介	P08
事業計画・事業報告 他	P10
シリーズ人・簡単レシピ 他	P14



社会福祉法人 鹿児島県社会福祉事業団

Kagoshima Social Welfare Service Corporation

〒890-8517 鹿児島市鴨池新町1番7号 鹿児島県社会福祉センター4階
TEL 099-257-7667 FAX 099-259-3939
E-mail j-office@kagoshima-swc.jp URL https://kagoshima-swc.jp



障害福祉サービス事業所 リハビリテーションゆず 障害のある方の社会参加を目指して



■施設外観

当事業所は、鹿児島市錦江町にある通所型のリハビリテーション施設です。平成28年の開所以来、今年で9年目を迎えます。主に高次脳機能障害のある方を対象として、個々の障害特性やニーズに応じた支援を行っています。職員は、利用者の方々の立場に寄り添うことを第一にきめ細やかな障害福祉サービスの提供に努めています。

施設内観



■食堂兼多目的ホール



■訓練作業室



■介護浴



■車いす対応のトイレ

サービスの内容

現在、生活介護と生活訓練のサービスを提供しています。具体的な訓練等の内容については、1日のスケジュールを作成するミーティングや、プリントや高次脳機能バランサーを用いた認知機能に関する訓練、ワークサンプルやPCを使用した就労準備訓練、集団活動やレクリエーション等を実施する日常生活訓練となっています。

また、作業療法士や理学療法士、言語聴覚士など専門職による個別訓練や園外での屋外歩行訓練、革細工や手芸といった利用者の方々のニーズに沿った訓練を実施しています。



認知療法(机上課題)



就労準備訓練(文書入力)



作業療法(革細工)



作業療法(レジン)



理学療法



言語療法

就労支援の取組

利用者の中には就労を希望される方もいらっしゃいます。令和5年度は、一般企業への就職や就労継続支援事業所の利用開始など、4名の方が就労移行となりました。

具体的な取組として、職場見学や体験実習への同行、ハローワークへの手続き同行、就労セミナーの開催等、関係機関と連携して取り組んでいます。

就労に向けたプレジョブセミナーの開催風景

鹿児島障害者職業センターの職員の方を講師としてお招きし、セミナーを開催しました。



「よか余暇サタディ」の取組

令和5年度より利用者の相互交流を図ることを目的に月1回土曜日を開所し、「よか余暇サタディ」の名称でサービスを提供しています。

これまでの取組としては、地域のカフェを巡ったり、買い物支援や、映画鑑賞、鹿児島国際大学の学生をお招きし、クリスマスコンサートを開催するなど余暇支援の充実を図っています。



現在、当事業所を利用されている方には、高次脳機能障害のある方だけでなく精神障害・身体障害・知的障害など様々な障害のある方もいらっしゃいます。随時、施設体験や施設見学を実施しておりますのでお気軽にご連絡ください。今後も、支援を必要とする方々のニーズに沿った適切なサービスの提供と、笑顔の絶えない事業所を心掛けてまいります。

ねっとわーく

施設の窓から

児童養護施設 仁風学園

スマイル2年目突入

昨年度、地域小規模児童養護施設スマイルを開設し、今年度で2年目となりました。スマイルは、事業団の基本理念である『みなに笑顔をお届けます』から『スマイル』と名付けられました。昨年度同様、小学生4名と高校生1名の女の子ホームです。

スマイル開設1年目を振り返ると、児童・職員共に慣れない環境での生活は、『スマイル』



の施設名とはかけ離れていました。職員として、どのように児童支援をしていけば良いのか何度も何度も悩まされたことを今でも覚えています。そして、子ども達とその度に向き合い、全力で児童支援にあたった1年間は、徐々に実を結び、今では自信を持って笑顔いっぱいの『スマイル』になったと言えます。心身共に成長していく子ども達を間近で見ることができ、嬉しさと共に大きなやりがいを感じています。

最後になりましたが、2年目に突入したスマイルに新しい家族が増えました！園長より金魚を2匹いただき、現在水槽で子ども達と飼育しています。エサやり当番を決め、大きくなるように日々育てています。名前は子ども達各々で決めているようで、金魚へ、登校前に「行ってきます。」就寝前に「おやすみなさい。」と言うのが習慣になりました。また、「金魚とね、



お話してたんだよ。」と職員に報告する姿はとても可愛らしいです。

これからも児童・職員・金魚と共に、笑顔あふれる『スマイル』での生活を歩んでいきたいと思えます。

■児童指導員：盛田 希美

保育所 同胞保育園

花を育てる心 ~園内花壇作り~

進級して年長組になると子ども達の最初の活動として、保育園の入口にある花壇に花植えをします。

今回は、土台から綺麗にするために花壇の草取りから始めました。子ども達は草を取りながら、「虫がいる。」とミズにみんな大喜びでした。草取りをして1週間後、お散歩をしながら近くの花屋さんへ花の苗を買いに行き、ビニール袋に入った苗を一人一つずつ大事に



受け取り帰ってきました。子ども達も「この花なんていうの?」「かわいいお花だね。」とビニール袋の中を覗き込みながら嬉しそうに話していました。お散歩から帰ってきて、職員の話聞きながら、草取りをした花壇にスコップで穴を掘り、苗の土がこぼれないようにそおとカップから外して花壇に入れて、丁寧に土をかけて植えました。最後に名前の札を挿して自分たちの素敵な花壇ができました。

その後、年長児の保護者の方が「子どもが「花を買いに行くんだー」と言っていたが本当に花を買いに行くと植えたんですね。」ととても嬉しそうに話をしてくださいました。中には、「この花はなんていう花だろう?」と携帯で検索をして自分の花を調べ、親子で会話する姿も見られました。

植物や生物等、身近にあってもあまり触れ



ることのない子ども達にとって、花を育てる大切さ、成長を楽しむ大切さ等が学べる機会になりました。

今では、園内の花壇にきゅうりやピーマンといった野菜の苗も植えて、日々の当番活動で花や野菜の水やり等を楽しむにしている子ども達です。

■保育士：福元 育代

児童養護施設 若葉学園

ゴールデンウィークのお楽しみ!!

待ちに待ったゴールデンウィークがやってきました。子ども達にたくさんの思い出を作ってあげたいという思いで、今年の幼児棟では、子ども達のリクエストであったメルヘン館や博物館、さらには高千穂牧場、垂水かんぱち祭りと、県内様々なイベントに3日間出かけました。

メルヘン館ではたくさんの玩具に、キラキラと目を輝かせる子ども達。おままごとや棒倒し



等、自分の好きな玩具に夢中になって遊んでいました。

大自然の高千穂牧場では牛さん、馬さんの大きさに、かんぱち祭りではお魚さんの迫力にびっくりしていました。

博物館では、カメやイモリが飼育されている水槽をマジマジと興味深そうに観察する子どもや、リアルすぎる剥製の動物に少し後ずさりながらも「生きてるの?」と何度も尋ねてくる子どもなど、反応も様々でした。

メルヘン館、博物館には、調理職員の手作り弁当を持って行き、県民交流センターで賑やかなお昼ご飯になりました。

盛りだくさんのスケジュールに、帰りの車の中はしばらくワイワイとお話しをしていましたが、あっという間に夢の中へ。

子ども達も職員も思いきり遊んで、楽しい



思い出を作ることができたゴールデンウィークとなりました。



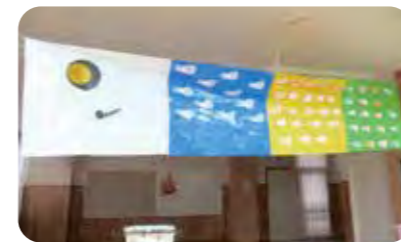
■児童指導員：平田 愛

保育所 鹿児島みなみ保育園

みんなで作ったこいのぼり

鹿児島みなみ保育園に飾られている大きなこいのぼり。青、黄、緑と色鮮やかなこいのぼりをよく見ると、こいのぼりの鱗の部分は子ども達の足型や手形。そして、3・4・5歳児クラスのこいのぼりには、じみ絵によって作られています。

実は昨年までは行っていなかったこの取り組み。昨年までは、各クラスで製作を行っていましたが、今年から保育園全体で大きなこいのぼりを作るようになりました。こうして見ると、



綺麗なこいのぼりですが、完成するまでには壮大なエピソードがありました。

まずは、0・1・2歳児クラスの様子を紹介します。ドキドキしながら足型を取る子ども達。中にはスタンプの感触を嫌がってしまう子どもや、ニコニコしながら上手に取る姿、泣かずに頑張る子どもの姿がありました。そして、ついに完成したいつもと違うこいのぼりを見て、子ども達は手を叩いて喜んでいました。

次に、3・4・5歳児クラスはもっと成長した

姿を見せてくれました。スタンプではなく、筆を使って絵の具が手に塗られていくのを嬉しそうにニヤニヤしながら見る子ども達。3・4・5歳児クラスは、貼り付けも自分達で行い、自分のお気に入りのじみ絵を選んで楽しそうに貼っていました。完成したこいのぼりを見てひらがなが読める子どもは自分の名前を探している様子も見られ、子ども達にとって印象的な思い出になったようです。



■保育士：山中 千歩

障害者支援施設
ゆすの里

鹿児島県 障害者スポーツ大会

5月19日に第18回鹿児島県障害者スポーツ大会が開催され、ゆすの里から4名の利用者の方々が参加されました。同大会は障害者スポーツの振興を図るとともに障害者に対する理解と認識を深め、その自立と社会参加の促進に寄与することを目的として平成18年から毎年開催されています。出場種目は1人1種目となっており、今回はゆすの里からの参加者全員がソフトボール投げにエントリーしました。

大会に向けて、それぞれが空いている時間



を見つけて練習に取り組み、準備を進めてきました。迎えた大会当日は、選手の皆様の背中を押すような晴天に恵まれ、ゆすの里から参加した方々も朝から「がんばるぞ!」と気合十分です。会場に到着し開会式を終えると、いよいよ競技が始まります。自分達の競技の順番が迫ってくるにつれて、だんだんと緊張感が高まる中、他の競技に真剣に取り組む選手達の姿から勇気もらい気持ちを落ち着かせます。そして、ついに自分達の順番がやってきます。観客席からの声援を背に少しでも遠くに届けられるようにカー杯ボールを投げます。結果はなんと・・・優勝が3名、準優勝が1名という素晴らしい成績を取ることができました。表彰式でメダルを受け取る利用者の方々からは素敵な笑顔が溢れており、思い出に残る大切な1日となりました。



今後も利用者の皆様に心からの笑顔が生まれるよう、各職員がそれぞれの役割を考えながら必要な支援を行っていききたいと思います。



■支援員：篠原 麟太郎

地域子育て支援拠点事業
鹿児島市南部親子つどいの広場
(たにっこりん)

経営計画の4本柱のひとつに、地域福祉の推進があります。たにっこりんでは、大学とのタイアップ事業を定期的実施し、来館する親子が多様な世代との交流をしています。鹿児島国際大学のゼミ生によるイベントもその1つです。

毎月、「国際大生とあそぼう」と題して、1歳以上の親子を対象に、ふれあい遊びや季節



学生による親子支援



の製作等、様々なイベントを企画していただいています。

3月は、子ども達が大好きないちごの製作をしました。いちごに関する手遊びや絵本の読み聞かせの後、学生達に作り方を教えてもらいながら、おいしそうないちごが完成しました。

いちごができた後は、お楽しみの「いちご狩りあそび」です。いちごが取れると嬉しそうに歓声を上げていました。

地域の中で、異年齢の方々と関わる機会が減っており、学生達も同じことだと思います。最初は子どもも学生も緊張して、お互いになかなか近寄せませんが、遊びや製作を通して距離を縮め、終わるころには笑顔いっぱい。「楽しかった」と、2回3回と続けて参加する親子も多く、とても楽しい時間になっています。

今後も、地域の学生達や施設等の方々と



交流できる機会を作っていきたいと考えています。そして、ふれあう機会を通し、地域全体で子育てを支えていけるように、地域子育て支援の拠点としての機能を果たせる広場を目指したいと思います。

■主任保育士：松林 礼実

障害者支援施設
川内自興園

外食、新たな行事として復活!

三密回避・マスク着用・大人数の会食禁止等様々な制限があり、当たり前のようにできていたことができなくなった「コロナ禍」。その感染症対策も少しずつ緩和され、今年度より利用者の方々への外食支援が、新たに「園長とランチ会」として、行事計画の中で復活することになりました!

昨年度4回行われた園長と利用者の方々との意見交換会「園長と語る会」にて、毎回



議題が上がっていたのが、外出・外食についてです。そこで、利用者の方々の誕生日に合わせて、少人数での外出・外食支援が始まりました。毎月、誕生者には何を食べたいかの聞き取り調査を行い、その結果を基に食べたいメニューが揃っているお店に出かける今回の新行事。久しぶりの外出に、好きな食事・デザートまで!! 笑顔いっぱい・お腹いっぱい、職員まで笑顔がはじけました。

また、みんなの前では意見を話すことが苦手な利用者の方も、少人数で食事に行くことで、園長と直接話をしながら意見交換ができるというメリットもありました。

来年はどこに行こう、何を食べようかな、と既に来年のことを考えられている利用者の方も多く、今からとてもワクワクされている様子です。

年に一度の自分の誕生日。これからも利用者の皆さんと一緒に祝いしていきたいと思っています。

■支援員：福永 佑紀

障害者就業・生活支援センター事業
ほくさつ障害者就業
・生活支援センター

ほくさつ障害者就業・生活支援センターでは、「障害者の雇用の促進等に関する法律」に基づき、障害のある方々が、身近な地域で、安心した職業生活を送れるよう、雇用・保健・福祉・教育等の関係機関の皆様と連携を図りながら、日々の支援を行っています。

今回は支援の一環として実施しているピアサポート活動について紹介します。ピアサポート活動では、同じような課題を持つ方々を対象に悩みを共感・共有することで、安心感や



ピアサポート活動を通じて

自己肯定感を高め、日々の励みの一つにすることを目的としています。

今年2月のピアサポート活動では、当センターの登録者で、現在の職場で約10年就労された方をピアサポーターとして講演を依頼しました。事前に、就労の様子を撮影し、支援員と「どのようなことを伝えたいか」「どうしたらわかりやすく伝わるか」等打ち合わせを重ねて、試行錯誤しながら資料を作成しました。

開催当日は多くの方々に参加していただき、みなさん熱心にピアサポーターの話に聞き入っていました。参加者の方々からは「あきらめずに頑張ることが大切だと思います。」「長く仕事を続けられるようがんばります。」など、前向きな意見が聞かれました。

私たちも日頃、利用者の方々の支援を行っていますが、ピアサポート活動を通じ、仕事の



困難な場面や工夫したこと、達成できた部分等を障害者自身が同じ障害のある方に対して伝えることで、より想いを共感できたのではないかと感じました。今回の活動を活かして、利用者自身がさらに自信を持って自己実現を果たすことができるよう支援していきたいです。

■主任支援員：山元 教広

令和6年度 新規採用職員紹介

Newly hired staff introduction

①氏名 ②勤務先・職名 ③特技／趣味 ④自己アピール・抱負



Uehara
Mizuho

- ①上原 瑞穂 (うえはら みずほ)
- ②仁風学園・児童指導員
- ③早起き／ダンス、ピアノ
- ④子ども達との関わりに不安はありますが、日々良い刺激を受けながら働くことにやりがいを感じています。臨機応変に行動することを目標として自分らしく一生懸命頑張りますのでよろしくお願いします。



Toshikawa
Kazuki

- ①利川 和樹 (としかわ かずき)
- ②仁風学園・児童指導員
- ③剣道／ボウリング
- ④社会人1年目で慣れていないことも多く、ご迷惑をおかけすることが多々あると思いますが、剣道で学んだ忍耐力を活かし、子ども達の気持ちに寄り添っていきけるよう精一杯頑張ります。



Magome
Tsuzumi

- ①馬込 鼓 (まごめ つづみ)
- ②仁風学園・調理師
- ③コミュニケーション／愛猫との団欒
- ④食事を通して、児童・職員など関わる方々とコミュニケーションを取り、笑い合い、支え合える関係を築いて行けたらと思います。そして児童の成長の手助けをできる存在になっていきたいと思っています。



Awano
Kotoha

- ①粟野 琴葉 (あわの ことほ)
- ②若葉学園・児童指導員
- ③書道／折り紙・ライブに行く事
- ④初めてのことばかりで、まだまだ慣れない事が多くありますが、自分から沢山の人のに関わり、子ども達にも先輩方にも信頼してもらえるような職員になれるよう笑顔で頑張っていきたいと思っています。



Mori
Ryutarou

- ①森 隆太郎 (もり りゅうたろう)
- ②若葉学園・児童指導員
- ③剣道／魚釣り・アニメ鑑賞
- ④社会人1年目で分からないことだらけでご迷惑をおかけすることが沢山あると思いますが、少しでも早く戦力になれるように精一杯頑張っていきたいと思っています。よろしくお願いします。



Honda
Yoshie

- ①本田 好江 (ほんだ よしえ)
- ②若葉学園・調理師
- ③休日の温泉巡り・自然の中を散歩すること・映画鑑賞
- ④元気に明るく皆さんに喜んでいただける職員をモットーに、介護現場や飲食店での勤務経験を活かし、子ども達の心と体が喜ぶ食事を提供できるように頑張ります。宜しくお願いします。



Yamanaka
Chiho

- ①山中 千歩 (やまなか ちほ)
- ②鹿児島みなみ保育園・保育士
- ③ピアノ／温泉に行くこと
- ④自分の名前の由来になった「千里の道も一歩より」のように少しずつ一生懸命頑張っていきたいです。先輩職員の姿を見ながらよりよい保育が出来るよう頑張ります。よろしくお願いします。



Taira
Mayuka

- ①平 真優華 (たいら まゆか)
- ②ゆすの里・作業療法士兼支援員
- ③バドミントン／キャンプ
- ④社会人1年目で不慣れなことが多く、たくさんのご迷惑をおかけするかと思いますが、「明るく、楽しく、安心安全な環境を!」を目標に、周りの方々の力をお借りしながら頑張りますのでこれからよろしくお願いします。



Chuman
Risa

- ①中馬 りさ (ちゅうま りさ)
- ②ゆすの里・支援員
- ③工作／トレッキング・動物やお笑いの動画を見ること
- ④ゆすの里の契約職員として8年間の経験を積んできました。まだまだ未熟な私ですが、これからは精進し、利用者や職員の皆さんに笑顔と元気を届けられる存在となれるよう、がんばります。よろしくお願いいたします。



Nitanda
Kento

- ①二反田 健斗 (にたんだ けんと)
- ②チャイルドクラブあおぞら・作業療法士兼支援員
- ③お菓子作り／料理・ビリヤード・コーヒー・ゲーム・音楽
- ④日々、元気一杯の子ども達と過ごす中で、気がつくといつも私が元気をもらっています。作業療法士としてはまだ1年目で未熟ではありますが、多趣味を作業療法の場面で活かせるように元気一杯で頑張ります。

辞令交付式〈令和6年4月1日〉



令和6年度 事業計画

I 基本方針

我が国の経済は、先行きについては、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待される。ただし、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっているほか、令和6年能登半島地震の経済に与える影響に十分留意する必要があるとされている。また、県内の景況については、消費関連が回復している一方、雇用情勢は横ばいとなっている。足元では、コロナ5類引き下げによる社会経済活動が再開し、全体として回復傾向が続いているものの、物価上昇の影響がみられる。

社会福祉を取り巻く環境については、社会福祉法人の経営組織のガバナンス強化や事業運営の透明性の向上、財務規律の強化など、より公益性の高い法人運営が求められている。また、福祉ニーズの複雑化、多様化、地域社会の変容等を踏まえ各般の取組が進められる一方で、介護・福祉分野における人材確保は引き続き困難な状況が続いている。

このような中、当事業団においては令和4年度から令和6年度を計画期間とする「鹿児島県社会福祉事業団経営計画2022」(以下「経営計画」という。)を策定し、安定的かつ持続的な施設運営のための経営基盤の強化を図ることにより、四者満足(利用者満足・地域満足・職員満足・経営満足)を実現し、公益性と経済性のバランスのとれた法人経営を目指している。

令和6年度については、経営計画に掲げる推進目標等を踏まえ、鹿児島県社会福祉事業団基本理念(以下「事業団基本理念」という。)や経営理念の実現を目指すという基本的方向のもと、事業団を取り巻く環境や課題を踏まえ、4つの柱からなる経営方針に沿って掲げた推進目標に向けて、職員一丸となって取り組む。

1. 質の高いサービスの提供

すべての職員が事業団基本理念に基づき同じ視点に立ち、利用者一人ひとりの人権を尊重し、個人の尊厳に配慮したきめ細やかなサービスと安全・安心な生活環境、利用環境を提供する。

また、児童養護施設、母子生活支援施設において第三者評価を受審するほか、事業継続計画(BCP)の充実を図り、リスクマネジメント体制を強化する。

2. 地域福祉の推進

地域共生社会の実現に寄与するため、新たな自主事業の取組や地域における公益的な取組を推進するほか、様々な関係機関とのネットワークを強化し、包括的な支援体制の構築を推進する。また、地域住民からの信頼を得られるよう、地域の安全・安心への取組、積極的な情報発信に取り組むなど、地域の多様な福祉ニーズに対応した事業を展開する。

3. 経営基盤の強化

安定的かつ持続的なサービスを提供することができるよう、職員一丸となって経営基盤の強化を図るとともに、社会福祉法など関係法令や事業団基本理念・職員倫理綱領、社会規範やモラル等を遵守した信頼性の高い法人経営を目指す。

4. 人材の育成

総合的な人材育成計画に基づき、職員がやりがいと希望を持って働ける魅力ある職場づくりを実現するため、キャリアパス制度や勤務評価制度、教育研修制度を確立・推進していく。

また、職員の心身の健康を確保するため、さらなる労働環境の向上に努め、人材の確保、定着、育成に向けた取組を強化するとともに、職員の専門性の向上を図る。

令和5年度 事業報告

I 基本方針

我が国の経済の先行きについては、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続いた。県内景況においては、消費関連が回復し、観光関連がやや持ち直している一方、雇用情勢は横ばい、畜産関連、投資関連が弱含み、生産活動が低調となっている。足元では、コロナ5類引き下げによる社会経済活動が再開し、全体として回復傾向が続いているものの、物価上昇の影響がみられた。

社会福祉を取り巻く環境については、社会福祉法人の経営組織のガバナンス強化や事業運営の透明性の向上、財務規律の強化など、より公益性の高い法人運営が求められる。また、福祉ニーズの複雑化、多様化、地域社会の変容等を踏まえ各般の取組が進められる一方で、介護・福祉分野における人材確保は引き続き困難な状況が続いた。

このような中、「鹿児島県社会福祉事業団経営計画2022」に基づき、安定的かつ持続的な施設運営のための経営基盤の強化を図ることにより、四者満足(利用者満足・地域満足・職員満足・経営満足)を実現し、公益性と経済性のバランスのとれた法人経営を目指してきたところであり、鹿児島県社会福祉事業団基本理念(以下「基本理念」という。)や経営理念の実現を目指すという基本的方向のもと、職員一丸となって各般の事業実施に取り組み、地域における社会福祉事業等の担い手として、より水準の高い事業経営に努めた。

1. 質の高いサービスの提供

すべての職員が事業団基本理念に基づき同じ視点に立ち、利用者一人ひとりの人権を尊重し、個人の尊厳に配慮したきめ細やかなサービスと安全・安心な生活環境、利用環境を提供するため、施設内サービス評価を実施したほか、事業継続計画(BCP)の充実及びリスクマネジメント体制の強化を図った。

2. 地域福祉の推進

地域の子育て世帯を対象とした子育てサロンの開催や小中学校等での「子どもの人権」をテーマにした講話の実施、無料開放講座の動画配信や地域住民参加によるコミュニティ講座の実施など、地域における多様な福祉ニーズに対応した事業を展開した。

また、地域住民からの信頼を得られるよう、ホームページやコミュニティFM放送局を活用し積極的な情報発信に努めた。

3. 経営基盤の強化

安定的かつ持続的なサービスを提供することができるよう経営基盤を強化するため、四半期ごとに経営計画推進会議を開催し、経営状況の分析、増収策の検討を行った。

ガバナンスや財務規律の強化を図るために、内部監査や外部監査等を実施した。

また、「鹿児島県社会福祉事業団法令遵守規程」に基づく取組状況の確認、促進を図るとともに、職場内のハラスメント防止の強化や個人情報保護をはじめとするセキュリティ対策の徹底に努めた。

4. 人材の育成

総合的な人材育成計画に基づき、職員がやりがいと希望を持って働ける魅力ある施設づくりを実現するために、キャリアパス制度や勤務評価制度、教育研修制度の円滑な運用定着を図った。また、効果的な広報媒体やツールを活用した人材確保に取組むとともに、新任職員に対するフォローアッププログラムを策定するなど、人材の確保、定着、育成に向けた取組を強化した。

さらに、資格取得支援の充実や実務研究論文等の作成・発表を推進し、各種の研修を実施するなど職員の専門性の向上に努めた。

決算報告

資金収支計算書

令和6年3月31日現在 (単位:円)

勘定科目	予算	決算	差異
事業活動による収支			
事業活動収入計	2,085,524,000	2,085,587,571	△ 63,571
事業活動支出計	2,005,248,000	1,902,035,094	103,212,906
事業活動資金収支差額	80,276,000	183,552,477	△ 103,276,477
施設整備等による収支			
施設整備等収入計	0	36,210	△ 36,210
施設整備等支出計	155,530,000	149,246,711	6,283,289
施設整備等資金収支差額	△ 155,530,000	△ 149,210,501	△ 6,319,499
その他の活動による収支			
その他の活動収入計	129,778,000	110,824,986	18,953,014
その他の活動支出計	118,353,000	118,139,387	213,613
その他の活動資金収支差額	11,425,000	△ 7,314,401	18,739,401
予備費支出	10,126,000	0	10,126,000
当期資金収支差額合計	△ 73,955,000	27,027,575	△ 100,982,575
前期末支払資金残高	583,520,000	583,520,724	△ 724
当期末支払資金残高	509,565,000	610,548,299	△ 100,983,299

事業活動計算書

令和6年3月31日現在 (単位:円)

勘定科目	当年度決算	前年度決算	差異
サービス活動増減の部			
サービス活動収益計	2,054,773,587	1,975,777,046	78,996,541
サービス活動費用計	1,984,957,280	2,009,478,915	△ 24,521,635
サービス活動増減差額	69,816,307	△ 33,701,869	103,518,176
サービス活動外増減の部			
サービス活動外収益計	30,813,984	26,458,982	4,355,002
サービス活動外費用計	16,667,227	1,075,172	15,592,055
サービス活動外増減差額	14,146,757	25,383,810	△ 11,237,053
経常増減差額	83,963,064	△ 8,318,059	92,281,123
特別増減の部			
特別収益計	2,895,002	287,200,000	△ 284,304,998
特別費用計	182,942,760	296,306,771	△ 113,364,011
特別増減差額計	△ 180,047,758	△ 9,106,771	△ 170,940,987
当期活動増減差額	△ 96,084,694	△ 17,424,830	△ 78,659,864
繰越活動増減差額の部			
前期繰越活動増減差額	1,451,340,737	1,146,865,567	304,475,170
当期末繰越活動増減差額	1,355,256,043	1,129,440,737	225,815,306
その他の積立金取崩額	86,684,000	337,400,000	△ 250,716,000
その他の積立金積立額	100,000,000	15,500,000	84,500,000
次期繰越活動増減差額	1,531,158,651	1,451,340,737	79,817,914

貸借対照表

令和6年3月31日現在 (単位:円)

資産の部				負債の部			
勘定科目	当年度末	前年度末	増減	勘定科目	当年度末	前年度末	増減
流動資産	869,482,182	1,176,161,675	△ 306,679,493	流動負債	345,426,782	662,495,805	△ 317,069,023
固定資産	3,848,573,071	4,141,369,869	△ 292,796,798	固定負債	419,275,752	446,993,555	△ 27,717,803
基本財産	3,387,265,143	3,653,042,369	△ 265,777,226	負債の部合計	764,702,534	1,109,489,360	△ 344,786,826
その他の固定資産	461,307,928	488,327,500	△ 27,019,572	純資産の部			
資産の部合計	4,718,055,253	5,317,531,544	△ 599,476,291	基本金	342,534,091	531,752,699	△ 189,218,608
				国庫補助金等特別積立金	1,963,201,977	2,121,806,748	△ 158,604,771
				その他の積立金	116,458,000	103,142,000	13,316,000
				次期繰越活動増減差額	1,531,158,651	1,451,340,737	79,817,914
				純資産の部合計	3,953,352,719	4,208,042,184	△ 254,689,465
				負債及び純資産の部合計	4,718,055,253	5,317,531,544	△ 599,476,291

財産目録

令和6年3月31日現在 (単位:円)

資産・負債の内訳	
I 資産の部	
流動資産	918,836,908
固定資産	3,848,573,071
資産の部合計	4,767,409,979
II 負債の部	
流動負債	394,781,508
固定負債	419,275,752
負債の部合計	814,057,260
差引純資産	3,953,352,719

苦情解決の対応状況

令和5年度に受け付けた当事業団苦情対応規程に基づく苦情の件数は、事業団全体で14件でした。

施設種別	苦情件数	苦情申出人				苦情種別内訳						
		利用者	家族	代理人	その他	職員の接遇	サービスの質	利用料	説明・情報提供	被害・損害	権利侵害	その他
児童養護施設	1		1				1					
女性自立支援施設												
保育所	4	3			1	1	2					1
地域子育て支援拠点事業	2	2					2					
母子生活支援施設												
障害者支援施設	7	2	5			5	1	1				
障害福祉サービス事業												
合計	14	7	6		1	6	6	1				1

寄せられた苦情に対しましては、「相談苦情対応マニュアル」に従い迅速かつ適切に対応し解決しています。苦情の内容・対応とその結果につきましては、当事業団のホームページに掲載しております。今後も利用者・関係者の皆様からの声(相談・苦情)を大切に受け止めサービスの向上に努めていきます。

役員名簿

令和5年6月26日現在

役員名	氏名	現職名等	当初就任年月日
理事長	下村 一彦		R3.6.22
常務理事	古川 保	(事務局長兼務)	R2.4.1
理事	松田 典久	元 鹿児島県保健福祉部長	R2.4.1
〃	田崎 寛二	鹿児島県社会福祉協議会常務理事兼事務局長	R4.6.24
〃	渡邊 正人	鹿児島県民生委員児童委員協議会会長	R2.4.1
〃	田中 正幸	元 鹿児島県共同募金会常務理事兼事務局長	H29.4.1
〃	徳永 千早	若葉学園長	H29.4.1
監事	池田 利博	元 仁風学園長	H25.4.1
〃	臼井 英雅	前 若葉学園長	H30.12.14

役員任期: 令和5年6月26日から令和7年度の定時評議員会の終結の時まで

評議員名簿

令和6年4月1日現在

役員名	氏名	現職名等	当初就任年月日
評議員	西井上 誠	前 鹿児島県社会福祉協議会常務理事	R4.6.24
〃	橋口 秀仁	日本赤十字社鹿児島県支部事務局長	R4.6.8
〃	出雲 信明	鹿児島県民生委員児童委員協議会副会長	R5.4.1
〃	新村 久美子	鹿児島県身体障害者福祉協会常務理事兼事務局長	R3.4.1
〃	新地 哲郎	鹿児島県手をつなぐ育成会常務理事兼事務局長	R4.4.1
〃	南 重秋	鹿児島県老人クラブ連合会常務理事兼事務局長	R4.6.8
〃	竹村 直子	鹿児島県保健福祉部次長(福祉担当)	R6.4.1
〃	川畑 将洋	鹿児島県保健福祉部子ども政策局次長	R5.4.1

評議員任期: 令和3年6月22日から令和7年度の定時評議員会の終結の時まで

シリーズひと



ゆずの里 主査看護師 井上 真理子

今回は、現在ゆずの里で看護師として勤務され、令和5年度に厚生労働大臣表彰を受賞された井上真理子主査看護師へインタビューしました!

※厚生労働大臣表彰…社会福祉事業に永年従事し、社会福祉事業の発展向上に顕著な功績がある方が表彰されます。

①事業団に勤務されて一番印象に残っていることは何ですか?
ゆずの里で開催された、「夏まつり」です。コロナ禍になって縮小していますが、それまでは盛大に行われました。全職員で協力し

て準備し、地域住民600名以上の来場があり、利用者や家族の笑顔を見ることができたことが印象に残っています。

②今、一番興味のあることは何ですか?
健康です。いつまでも元気に過ごしたいと思っていますので、健康的な食事や十分な睡眠、適度な運動を心がけています。

③休日の過ごし方を教えてください。
気分転換にドライブや旅行、神社参拝に出かけています。春は熊本城の桜を見に行き、夏は宮崎の青島・鶴戸神社、秋は宮島の厳島神社、毎年初詣に大宰府天満宮に出かけています。

④座右の銘は何ですか?
「継続は力なり」
昔からの格言かと思いますが、子供の頃から親に言われていたのかもしれませんが。私の心の中にいつもこの言葉がありました。「地道に続けていけば、いつか大きな成果がでる」というような意味合いがあり、自分でできる小さな事でも毎日コツコツ続けること、自分で決めたことは最後まであきらめずにやり続ける力をもちたいと思っています。

⑤事業団に勤務している職員へメッセージをお願いします。
事業団は様々な施設があり、多くの専門職の方々と一緒に働くことで視野を広げることができると思います。利用者との「出会いを大切に」日々精進していきましょう。また困った事や悩んでいる事がありましたら身近な先輩や上司に相談して一人で抱え込まないようにしてくださいね。自分の心と体を守ることも大切です。

ちょっと気になるニュース

インスタグラム(Instagram)を開設しました!

インスタグラムとは、写真や動画が共有できるソーシャルネットワーキングサービス(SNS)の1つで、現在事業団では仁風学園、若葉学園が運用しています。

インスタグラムでは、児童養護施設で生活する子ども達の園内での様子や子育てサロンなどの行事、職員のことなど様々な情報を発信しています。

気になる方はご覧いただき、ぜひ「いいね!」、フォローをお願いします!

仁風学園
Instagram




若葉学園
Instagram




くるくるゼリー



- 材料【2人分】**
- お好みの果物(数種類) …………… 適量
 - 粉寒天 …………… 4g
 - 砂糖 …………… 60g
 - 水 …………… 500ml
 - レモン果汁 …………… 小さじ1

Recipe!

- 下準備**
- A: 果物は一口大にカットします。
B: お好みの大きさのカップに大きめのラップを敷いておきます。
- 作り方**
- ①: 鍋に水と粉寒天を入れて溶かします。
 - ②: ①の中に砂糖を入れて溶かします。
中火で混ぜながら加熱し、沸騰したら弱火にし、2分ほど沸騰させた後、火を止め、粗熱をとります。
 - ③: 下準備したBにAを盛り付けます。
 - ④: 粗熱がとれた②を③に果物にかぶる程度まで流し入れます。
 - ⑤: 形を整えながら輪ゴムやモールを使ってラップの口を縛ります。
 - ⑥: 約1時間冷蔵庫で冷やして完成です!

MEMO

- 果物を盛り付ける作業や形を整えながらラップの口を縛る作業は、お子様と一緒に楽しく行うことができます。
- 果物に多く含まれるビタミンCはストレスを軽減するホルモンの生成を促す役割があります。体内では合成できないので、毎日の食事からしっかりとることが大切です。



●仁風学園 主任栄養士兼主任児童指導員 松永美鈴

職員提案結果発表

業務の活性化と施設のサービス向上を目的に職員提案の募集を行いました。令和5年度は2つの提案があり、令和6年2月28日に職員提案審査委員会で審議が行われ、下記の結果となりました。貴重な提案を頂きありがとうございました。

佳作

- ドキュメントスキャナ導入による簡易文書管理システムの構築について
- 法人のイメージキャラクター「かけるん」について

令和6年度も次の期間で募集を行う予定です。今後も業務の活性化と施設のサービス向上のためたくさんのご応募お待ちしております!

令和6年9月1日～11月30日

お疲れ様でした!

令和6年3月31日付退職



施設名	職名	氏名	写真の位置
女性自立支援施設	主査支援員	堂ノ脇 直美	
母子生活支援施設	副寮長	假屋 千秋	1列目左から
仁風学園	副園長	加藤 里美	
女性自立支援施設	寮長	吹留 良一	
川内自興園	就労支援課長	前土佐 はるみ	
同胞保育園	主査保育士	益 美詠	
若葉学園	主任児童指導員	吉田 匡志	2列目左から
仁風学園	主任児童指導員	高田 拓維	
同胞保育園	保育士	篠原 可帆	
鹿児島みなみ保育園	保育士	佐藤 美紀	
鹿児島みなみ保育園	主任保育士	柿内 真沙子	
川内自興園	主事	橋詰 ゆきな	